国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 多賀 学昭副会長 川上 幸子幹事 坂田師通

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2 F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4 ホテル泉屋内 TEL・FAX 0983-21-1636

第2338回 令和7年4月10日プログラム

- 1. 点 鐘
- ロータリーソング 四つのテスト
- 3. ビジター・ゲスト紹介
- 4. 会長の時間
- 5. 幹事報告
- 6. 出席報告

- 7. BOX披露
- 8. 委員会報告
- 9. 会員卓話
- 10. 点 鐘
- 11.

高鍋ロータリークラブテーマ

『共に語り、共に栄え、共に未来への種を蒔こう』 第 2730 地区ガバナー 笹山 義弘 中部グループガバナー補佐 戸高 勝利 RI 会長テーマ 『ロータリーのマジック』 第 2730 地区テーマ

『ロータリーのマジックで、ロータリーを楽しもう』 4月の月間テーマ

環境月間

本日の例会案内

*ポリオBOX

- *雑誌紹介
- *会員卓話-多賀学昭君
- *例会終了後新入会員オリエンテーション

次週例会案内;4月17日(第2339回)

- *会員卓話—岡島達雄君
- *100 万ドルBOX
- *例会終了後プログラム委員会

第2337回 例会内容(4/3)

□会長の時間

皆様、今日は。

本日もご出席ご苦労様です。1週間ヨーロッパ公演で留守をしましたが、ラインでクラブの観桜会の様子が送られて来て「楽しそうだなあ。」と思いを馳せておりました。観月会とは違い「月?は出なくてもよかったな。」と異国で変な感

会長 多賀 学昭 君



想を抱いておりました。留守中皆さまどうもありがとう ございました。

さて、皆様ご案内のように川南町モーツァルト音楽祭では3月20日から27日まで、合唱団34名、オーケストラ44名、指揮者とソリスト2名、総勢80名でオーストリアのリンツ、ウイーンへ演奏旅行に行ってまいりました。今回の旅行の目的は、この音楽祭の恩人である故バルドウイン・スルツァー先生(2019年逝去 オーストリアを代表する作曲家、教育者、音楽評論家)の墓参りと追悼演奏会を実施するためでした。

川南の音楽祭は2001 (平成13) 年に始まり、通算24年 続いております。音楽監督の馬込勇氏は、高校を出てすぐ (1974) にウイーン国立音大に留学し、ファゴットと指揮を学んで首席で卒業。まだまだ人種差別の強い時代で、電車で隣の席の女性から「猿」と呟かれたこともあったと述懐しておられました。卒業後州立リンツ・ブルックナーオーケストラの首席ファゴット奏者として就職。そのころリンツ音楽高校の教頭だったスルツァー先生と出会い、先生の主宰するモーツァルト青少年管弦楽団の指導、育成を手伝うようになりました。

1998 年にお父上の逝去に伴い、帰国して国立音大附属高校の教諭、国立音大講師、熊本平成音楽大学教授として活動していましたが、その当時ザルツブルクにある国際モーツァルテウム財団が「世界五大陸に一つずつ『モーツァルト青少年オーケストラ』を創設して青少年の音楽教育を発展させよう。」という計画を立て「アジアでは日本の馬込がよかろう。」と白羽の矢が立ちました。

それで早速オーディションをして団員を募集し結成されたのが『日本モーツァルト青少年管弦楽団』というわけです。因みによその大陸に「モーツァルト青少年管弦楽団」が出来たという話は聞かないので、結局日本だけ実現したということなのでしょう。そしてご縁があって川南町がその合宿練習、成果発表の場として『川南町モーツァルト音楽祭』を開催する運びとなり、私たちがそのお世話をすることになったわけです。

当時スルツァー先生は、70歳を超えて教職を引かれ、 ご自身の青少年オーケストラも解散しておられましたが、 教え子たちが音楽界で活躍しておりました。フルートのギュンター・フォーグルマイヤー(ウイーンフィル)、マティアス・シュルツ(ウイーン国立歌劇場管弦楽団)、ゲロルディンガー(ヨハンシュトラウス管弦楽団団長)、フランツ・ウェルザーメスト(前ウイーンフィル常任指揮者)等々、錚々たる顔ぶれです。

このようにスルツァー先生とその門下生の人たちが川南を訪れて指導してくださいました。特にスルツァー先生は7~8回川南に来られて指導、コンサート指揮をしてくださり、私たちも「本場のヨーロッパのクラシック音楽はこんなものなのか。」と目を見開かされる経験を何度もしました。モーツァルトのミサ曲中「クレド(信仰宣言)」の楽章で「これはキリストと神への信仰を胸に人生を堂々と歩む行進曲だ!」と足で床を踏み鳴らしながら「もっともっと堂々と!」と叫んでおられた姿は忘れられません。信仰と言えば「敬虔な祈り」と思いがちな日本人の我々に、西洋人の信仰の在り方の一面を強烈に印象付けられた記憶となっています。

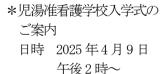
スルツァー先生は実は修道士で、リンツ郊外のヴィラリング修道院に住んでおられました。ここにはハプスブルク帝国全盛期に建てられた大変華麗で美しいロココ様式の教会があります。

そのスルツァー先生が 2019 年に 87 歳で亡くなられましたが、おりしもコロナ感染の最中で渡欧できず、今回やっとヴィラリング修道院を訪れて教会の裏手の中庭にある修道士墓地にあるお墓に参ることができ、花束を手向けて祈りを捧げてまいりました。

そしてその美しい教会での追悼演奏会。指揮はトビアス・ヴェーゲラー。20 年前我々が初めてリンツを訪れた時にはまだ高校生でした。今はウイーン・フォルクスオーパーの常任指揮者として活躍中です。

川南に過去も 2 回来て振ってくれました。今年は彼が来てハイドンのオラトリオ『天地創造』を指揮してくれる予定です。スルツァー先生が蒔いた種がオーストリアと日本で花開いた感があり、非常に感慨深い旅となりました。

□幹事報告 幹事 坂田 節 <文書案内>



場所 児湯准看護学校 *「石井十次賞」贈呈式 及び生誕記念式典案内 日時 2025 年 4 月 15 日 13:30~15:40

場所 たかしんホール

幹事 坂田 師通 君



□入会おめでとうございます!



□月初めのセレモニー

♥誕生日おめでとうございます♥



中武泰一郎君 福岡直樹君

❤結婚記念日おめでとうございます❤



多賀学昭君 岩切洋君 岩本正志君



PETS報告 会長エレクト川上君



早朝例会案内 職業奉仕 岩切君

□BOX披露 親睦活動委員長 髙橋 康朗 君

<ニコニコ・財団・米山 BOX>

【多賀学昭君】中岡君、齊籐君の 入会を歓迎致します。オース トリアの演奏旅行無事成功 裏に終わりました。ありがと うございました。



【坂田師通君】齊藤様、中岡様の 入会を心からお祝い申し上 げます。

【橋口清和君】中岡さん、齊籐さんの入会をお祝いして。 大歓迎です。よろしくお願い致します。

【中武泰一郎君】誕生日祝いのお返しとして。

【岩切洋君】 結婚記念祝いのお礼として。 いつもありがとうございます。

【岩本正志君】結婚記念祝いのお礼として。

□出席報告

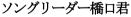
委員長 児玉 幸則 君

出席状況報告(4/3)

H/111//// (1/ 0/	
会 員 数	40名
出席会員数	30名
ホーム出席率	76.92%
修正出席率	89.74%









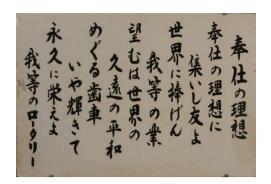
ピアノ演奏 森さん



テーブルの花



本日の食事



ロータリアンの行動規範

ロータリアンが使用するために次の行動規範が採択された。

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理 基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業 に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、 特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世 界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とす ような言動は避ける。
- 5) ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する

「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎と して奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある。 具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1.知り合いを広めることによって奉仕の機会 とすること。
- 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事は すべて価値あるものと認識し、社会に奉仕す る機会としてロータリアン各自の職業を高潔 なものにすること。
- 第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また 事業および社会生活において、日々、奉仕の 理念を実践すること。
- 第4.奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を 推進すること。